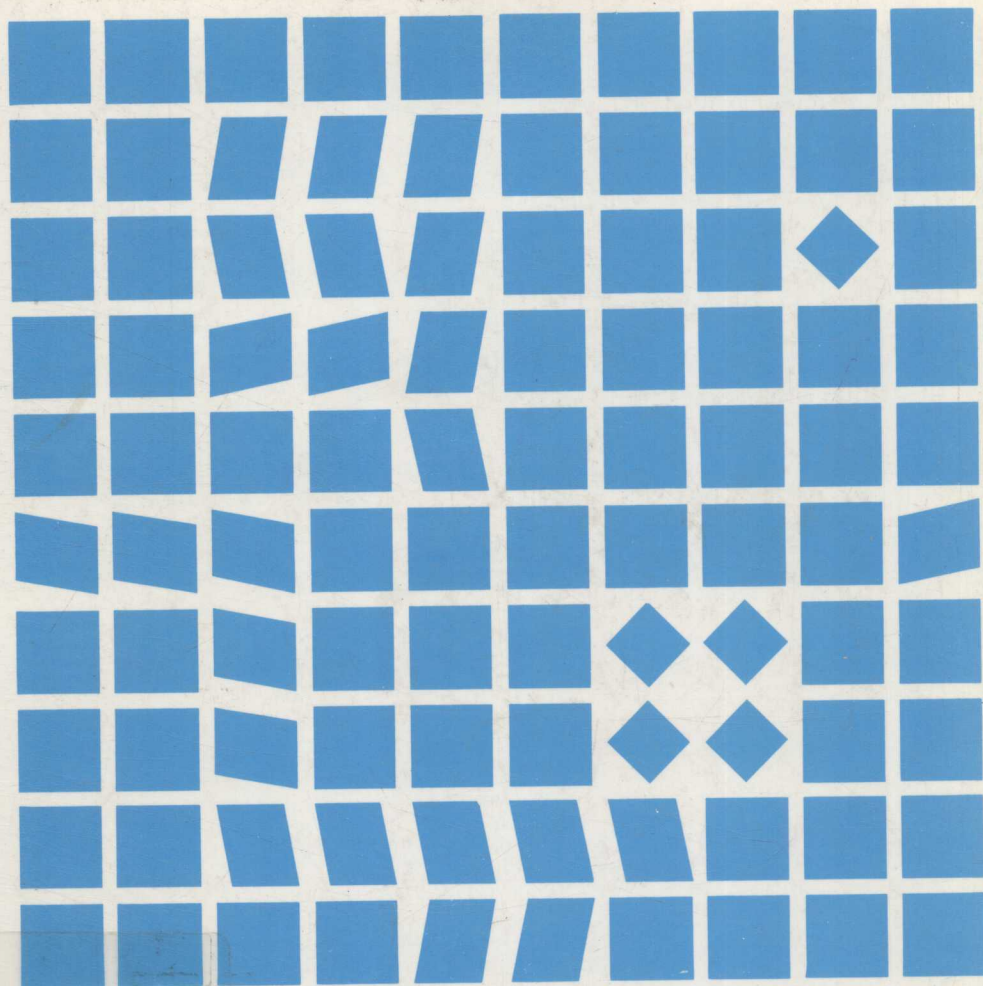


日語助詞詳解

鴻儒堂編輯部編



鴻儒堂出版社發行

H364.2
931

港台書室

Y 705315

日語助詞詳解

鴻儒堂編輯部編

林榮一校閱



90097322

鴻儒堂出版社

版權所有
翻印必究

定價：120 元

發行所：鴻儒堂出版社

發行人：黃成業

地址：臺北市城中區 10010 開封街一段 19 號

電話：三一二〇五六九・三三一——八三

郵政劃撥：〇一五五三〇〇～一號

電話傳真機：〇二 - 三六一二三三四

印刷者：楨文彩色平版印刷公司

電話：三〇五四一〇四

法律顧問：周燦雄律師

行政院新聞局登記證局版臺業字第壹貳玖貳號

中華民國八十年一月改訂再版

本書凡有缺頁、倒裝者，請逕向本社調換

目 錄

第一章 助詞〈は〉〈が〉的用法及區別

一、〈は〉的用法	1
(一) 提示主題	1
(二) 表示對比	4
(三) 加強語氣	6
(四) 〈は〉的三種用法的比較	9
二、〈が〉的用法	10
(一) 主格助詞	10
(二) 對象格助詞	12
(三) 連體格助詞	15
(四) 連接助詞	15
(五) 感嘆助詞	15
三、〈は〉、〈が〉的區別	16
(一) 主題與主語	17
(二) 對比與主語	21
(三) 對象語同主題和對比的關係	22
(四) 否定句	22
練習一	25

第二章 連體修飾 語句裏的主格助詞和對象格助詞〈が〉〈の〉〈を〉 在用法上的區別 以及連體修飾語句裏的提示助詞〈は〉

一、連體修飾語句裡的主格助詞〈が〉和〈の〉的區別……………	28
(一) 〈が〉可以用〈の〉替換の場合……………	28
(二) 〈が〉較難用〈の〉替換の場合……………	29
二、連體修飾語句裡的對象格助詞〈が〉〈を〉〈の〉的區別	
(一) 〈が〉或〈を〉可以用〈の〉替換の場合……………	33
(二) 〈が〉和〈を〉的區別……………	33
三、連體修飾語句裡的提示助詞〈は〉……………	34
練習二……………	36

第三章 格助詞〈に〉和〈で〉在用法上的區別

一、表示空間的〈に〉與〈で〉……………	38
(一) 後續動詞……………	38
(二) 後續形容詞和形容動詞……………	40
二、〈～のもとに〉與〈～のもとで〉……………	40
三、表示空間，並後續移動性自動詞的〈に〉、〈で〉、〈を〉……………	41
四、表示時間的〈に〉和〈で〉……………	43
(一) 表示時間的〈に〉和〈で〉的區別……………	43
(二) 時間名詞加〈に〉和不加〈に〉……………	44
(三) 表示時間的數詞在什麼場合不加助詞……………	44
(四) 表示時間的〈には〉與〈では〉的區別……………	45
五、〈まで〉、〈までに〉、〈までで〉……………	45
(一) 〈まで〉、〈までに〉、〈までで〉的區別……………	45
(二) 〈まで〉和〈までに〉的另一種用法……………	47

(三) 表示時間的〈に〉和〈までに〉的區別	47
(四) 表示時間、場所的〈で〉和〈までで〉的區別	47
六、〈～たあと〉、〈～たあとに〉、〈～たあとで〉、 〈～てから〉	48
七、表示原因和理由的〈に〉與〈で〉	49
八、〈には〉和〈では〉	50
(一) 〈には〉	51
(二) 〈では〉	54
練習三	57

第四章 格助詞〈に〉和〈と〉在用法上的區別

一、表示對方和對象	59
(一) 要用〈に〉の場合	59
(二) 要用〈と〉の場合	60
(三) 〈に〉和〈と〉都可以用的場合	61
二、表示變化的結果	62
(一) 要用〈に〉の場合	62
(二) 要用〈と〉の場合	62
(三) 〈に〉和〈と〉都可以用的場合	63
三、表示思考和感覺的內容	63
(一) 思う	63
(二) 思われる、思える	64
(三) 考える	64
(四) 見る	64
(五) 見える	65
四、表示基準	65

(一) 表示異同·····	65
(二) 表示類似·····	65
(三) 表示比較·····	66
五、〈に〉和〈と〉後接〈なの〉和〈する〉構成的慣用型···	66
六、〈に〉和〈と〉後接〈なる〉和〈する〉構成的慣用語、 諺語、常用詞組·····	84
(一) 慣用語·····	84
(二) 諺語·····	91
(三) 常用詞組·····	92
練習四·····	93

第五章 連接式和中止法的用法及其區別

一、敘述句

(一) 連接式·····	95
(二) 中止法·····	100
(三) 區別·····	101

二、描寫句·····

三、判斷句·····

四、前項的主語和補語·····

五、連接式後項的否定形式·····

六、連接式、中止法的“時”·····

練習五·····

第六章 〈ないで〉、〈なくて〉、〈ずに〉、〈なしに〉的用法 及其區別

一、一般特點·····	110
-------------	-----

二、具體用法	111
(一) 表示前提條件的狀態	111
(二) 表示並列關係	112
(三) 表示因果關係	112
(四) 用作結句	113
(五) 後續補助動詞	114
(六) 構成慣用型	115
(七) 構成單語、複合語、詞組	117
練習六	118
附：〈ないで〉、〈なくて〉、〈ずに〉、〈なしに〉的用法比較表	119

第七章 連接助詞〈と〉、〈ば〉、〈たら〉、〈なら〉、〈ては〉的用法及其區別

一、〈と〉	121
(一) 用法特點	121
(二) 具體用法	121
二、〈ば〉	125
(一) 用法特點	125
(二) 具體用法	125
三、〈たら〉	129
(一) 用法特點	129
(二) 具體用法	130
四、〈なら〉	136
(一) 用法特點	136
(二) 具體用法	136

五、〈ては〉和〈では〉	141
(一) 用法特點	141
(二) 具體用法	142
附：〈と〉、〈ば〉、〈たら〉、〈なら〉、〈ては〉	
用法比較表	144
六、慣用型	146
七、常用語句	164
練習七	166

第八章 助詞〈って〉、〈だって〉的用法

一、〈って〉	169
(一) 格助詞	169
(二) 提示助詞	170
(三) 感歎助詞	171
(四) 〈居て〉的音使	172
(五) 〈行〉的省略	172
(六) 〈て〉的重讀	172
(七) 五段動詞音便＋〈て〉	172
(八) 連接助詞〈たって〉	172
二、〈だって〉	173
(一) 提示助詞	173
(二) 感歎助詞	174
(三) 連接助詞	174
(四) 連詞	175
(五) 〈だ〉＋〈って〉	175
(六) 〈なんだって〉	176

練習八	177
-----	-----

第九章 副助詞〈くらい〉、〈ほど〉、〈ばかり〉、〈だけ〉的用法及其區別

一、〈くらい〉	179
(一) 數詞＋〈くらい〉	180
(二) 指示詞＋〈くらい〉	182
(三) 副詞＋〈くらい〉	183
(四) 名詞、人稱代名詞、形式名詞〈の〉＋〈くらい〉	183
(五) 用言、句子＋〈くらい〉	184
(六) 格助詞＋〈くらい〉；〈くらい〉＋格助詞	185
二、〈ほど〉	186
(一) 數詞＋〈ほど〉	186
(二) 指示詞＋〈ほど〉	187
(三) 副詞＋〈ほど〉	187
(四) 名詞、人稱代名詞＋〈ほど〉	187
(五) 用言、句子＋〈ほど〉	188
(六) 格助詞＋〈ほど〉；〈ほど〉＋格助詞	189
三、〈ばかり〉	189
(一) 數詞＋〈ばかり〉	190
(二) 指示詞＋〈ばかり〉	191
(三) 副詞＋〈ばかり〉	192
(四) 名詞、人稱代名詞、形式名詞〈の〉＋〈ばかり〉	192
(五) 用言、句子＋〈ばかり〉	193
(六) 格助詞＋〈ばかり〉；〈ばかり〉＋格助詞	193
四、〈だけ〉	195

(一) 數詞＋〈だけ〉	195
(二) 指示詞＋〈だけ〉	196
(三) 副詞＋〈だけ〉	197
(四) 名詞、人稱代名詞、形式名詞〈の〉＋〈だけ〉	197
(五) 用言、句子＋〈だけ〉	199
(六) 格助詞＋〈だけ〉；〈だけ〉＋格助詞	199
附：〈くらい〉、〈ほど〉、〈ばかり〉、〈だけ〉比較表	203
五、慣用型	205
六、構詞成分	215
(一) 〈ほど〉	215
(二) 〈だけ〉	215
練習九	217
附錄一 練習題之解答	219

第一章

助詞〈は〉〈が〉的用法及區別

一、〈は〉的用法

〈は〉是提示助詞，或稱副助詞或稱系助詞。連接於體言或用言連用形之後，它有三種用法：提示主題；表示對比；加強語氣。

(一) 提示主題

用助詞〈は〉來提出一句話的主題，〈は〉的後面是對該主題的說明。主題是指一句話的中心事項和範圍，是一句話中的題目、話題。主題必須是①不必特別指出也能夠讓人馬上知道的人或事物等。②前面已交代過的人或事、或在特定的情形下談話人等雙方都明白的事物。即主題〈～は〉是已知的舊情況，而〈は〉後面是一種未知的新情況。

1. 除主語外、賓語、補語、連體修飾語、連用修飾語等也可以作主題。主題部分發音不重讀。

(1) 主語作主題〔が→は〕

一個句子裏，被判斷的主體、或者存在、狀態、行動的主體，後接主格助詞〈が〉就構成了主語，後接提示助詞〈は〉就構成了主題。在有主題的句子裏，百分之八十以上是用主語作主題的。

○わたし^が林^{りん}です/我就是姓林。→わたし^は林^{りん}です/我姓林。

〔主體〈わたし〉+〈が〉=主語；主體〈わたし〉+〈は〉=主題〕

○雪^{ゆき}が^が白^{しろ}い/白雪皚皚。→雪^{ゆき}は^は白^{しろ}い/雪是白的。

〔主體〈雪〉+〈が〉=主語；主體〈雪〉+〈は〉=主題〕

- 教室に田中先生がいます／教室裏有田中老師。→田中先生は教室にいます／田中老師在教室裏。〔後一句，主題要移到句首〕
- 林さんが学校へ行きます／是林先生到學校去。→林さんは学校へ行きます／林先生到學校去。

(2) 賓語作主題〔を→は〕

- 学校の食堂で昼ご飯を食べます／在學校的餐廳吃午飯。
→昼ご飯は学校の食堂で食べます／午飯在學校的餐廳吃。
- 私が通訳をしました／我翻譯了。→通訳は私がします／是我翻譯的。

(3) 補語作主題〔に→(に)は。で→(で)は。其餘類推〕

- この夏に海に行きました／今年夏天到海濱去了。
→この夏は海に行きました／今年夏天到海濱去了。
- この会社に社員が三十人いる／這家公司有三十個職員。
→この会社には社員が三十人いる／這家公司有三十個職員。
- 会場で余興が始まっている／在會場上，餘興節目開始了。
→会場(で)は余興が始まっている／(在)會場，餘興節目開始了。
- 一度も高雄へ行ったことがない／一次也沒有去過高雄。
→高雄(へ)は一度も行ったことがない／高雄一次也沒有去過。〔後一句，主題要移到句首〕
- 直線とは二点間の最短距離である／直線是兩點之間的最短距離〔用くとは〕提出主題〕
- 「去年七星山で雪が降ったそうですよ」「七星山で雪が降るとは珍しいことですね」／“據說去年七星山下雪了。”“七星山下雪，那是很稀奇的事。”〔後一句的くとは〕相當於くというのは〕，表示以意外的心情來引用對方的話作主題〕
- 〔～からは〕、く～までは〕、く～よりは〕一般表示對比，不

作主題。

(4) 連體修飾語作主題〔の→は〕

○東京^{とうきょう}の秋はすばらしい／東京の秋天好。→東京は秋がすばらしい／東京，秋天好。〔〈秋は〉變爲〈秋が〉〕

○代表取締役^{だいひょうとりしまりやく}の任期^{にんき}は三年とする／董事長的任期爲三年。

→代表取締役は任期を三年とする／董事長任期爲三年。

(5) 副詞性修飾語作主題〔後加くは〕

○あす^{あめ}雨^ふが降るだろう／明天會下雨吧。→あすは雨が降るだろう／明天會下雨吧。〔用時間名詞作主題〕

○うまくいった場合^{ばあい}，優勝^{ゆうしょう}すると思う／搞得好，我想是能得冠軍的。→うまくいった場合は優勝すると思う／搞得好的話，我想是能得冠軍的。

○それについて，支配人^{しはい}から説明^{せつめい}いたします／關於那件事情，由經理進行說明。→それについて，は，支配人から説明いたします／關於那件事情，由經理進行說明。〔用慣用型作主題〕

從上面的例子可以看出，提示主題的〈は〉兼有〈が〉、〈を〉、〈に〉、〈で〉、〈の〉等格助詞的作用。同時也可以看出，主語和主題是不同的概念，而在主語作主題の場合，就會發生〈は〉和〈が〉的混用問題。

2. 〈は〉能提出主題，並對該主題進行說明，因此，〈は〉可以關聯全句。在複句裡，〈は〉兼有兩個以上的格助詞的作用，這種〈は〉不可以用〈が〉替換。

○彼は^{かれ}病氣^{びょうき}なので、行けないよ／他因生病，所以不能去哪。

〔〈彼は〉關聯全句，對前半句和後半句都兼有〈彼が〉的作用〕

○この小説^{しょうせつ}はおもしろいから、ぜひ^よ読んでごらん／這部小說有

- 趣，你一定要看看。〔〈この小説は〉關聯全句，對前半句兼有（この小説が）的作用，對後半句兼有（この小説を）的作用〕
- 君^{きみ}は，彼^{かれ}と仲^{なか}がいいから，お願^{ねが}いするのだが／你跟他交情好，所以拜托你。〔〈君は〉關聯全句，對前半句兼有（君が）的作用，對後半句兼有（君に）的作用〕
- ぶどう^{ぶどう}は，そのまま食^たべるほかに，ぶどう酒^{しゅ}にしたり，干^{ほし}ぶどうにしたりします／葡萄除了直接吃以外，還可以做葡萄酒和葡萄乾。〔〈ぶどうは〉關聯全句，對下面三個短句都兼有（ぶどうを）的作用〕
- 梅雨^{つゆ}どきは，じめじめした天^{てん}氣がつづくので，かびがはえやすく，食^くべ物もくさりやすい／梅雨季節，潮濕天氣接連不斷，所以容易發霉，食品也容易腐壞。〔〈梅雨どきは〉關聯全句，對下面三個短句都兼有（梅雨どきに）的作用〕
- 二人^{ふたり}は，将棋^{しょうぎ}の上で争^{あらそ}っても，心^{こころ}は打^うち解^とけていました／兩人雖然在象棋上有爭執，但心裡是融洽的。〔〈二人は〉關聯全句，對前半句兼有（二人が）的作用，對後半句兼有（二人の）的作用〕

（二）表示對比

1. 表示對比、對照的句子，一般用助詞〈は〉。被對比的人或事物不一定講出來。對比的〈は〉關聯到分句末或全句。對比的〈～は〉部分，要重讀。從句子成分來講，主語、賓語、補語、連用修飾語都可以用來表示對比。

一個句子裡，〈は〉是提示主題還是表示對比，要從前後文關係，句子結構，是否重讀來區別。在某些句子裡，〈は〉是表示主題還是表示對比、比較含糊。在主語以外的成分中出現〈は〉時，這個〈は〉往往表示對比。

○「浅原君は行くが、君は？」「いや、僕は行かない」/ “浅原同學是去的，你呢？” “不，我是不去的。”〔主語作對比〕

○赤は止まれ、青は進めの信号だ/ 紅燈是停止，綠燈是前進的信號。〔主語作對比〕

○酒は少し飲むが、たはこは吸わない/ 酒是喝一點兒，但烟是不抽的。〔賓語作對比〕

○彼は専門知識は持っているが、常識に欠けている/ 他專門知識是有的，但缺乏常識。〔賓語作對比。主題く彼は〕關聯全句，對比的く専門知識は〕關聯到分句末〕

○「わたしは京都のような古い静かな町へ旅行に行ってみたいです」 「にぎやかな所へは行きたくないのですか」/ “我想到京都那種古老、清靜的城鎮去旅行。” “熱鬧的地方不想去嗎？”〔補語作對比〕

○左からはトラック、右からは乗用車が来た/ 從左邊來了卡車，從右邊來了轎車。〔補語作對比〕

○今日は行けるが、明日は行けない/ 今天能去，但是明天不能去。〔副詞性修飾語作對比〕

某些數詞、副詞，某些形容詞和形容動詞的連用形，它們後接くは），往往帶有對比的語氣，這也是副詞性修飾語作對比。

○ビールの一杯（くらい）は飲めるでしょう/ 一杯啤酒總可以喝的吧。〔多喝也不勉強了〕

○ビールなら、少しは飲めるでしょう/ 啤酒的話，少量是可以喝的吧。〔就算是不能大量喝〕

○足が不自由だから、はやくは歩けません/ 腳有病，所以快走是不行的。〔慢走還勉強〕

○まだ上手には話せません/ 還不能講得很好。〔一般地講還能

對付]

2. 一個句子裡出現兩個以上的くは時，有時候兩個くは都是語法上的主題。有時候一個是表示主題，其他是表示對比。一般說來，主題居前，對比居後。主題的くは不重讀，對比的くは要重讀。

○この川^{かわ}は水量^{すいりょう}は^{おお}あまり多くない／這條河水量不太大。〔兩個主題都不重讀〕

○わたしは、きのうは、うちにいませんでした（ふだんはいます）／我昨天是不在家的（雖然平常是在家的）。〔くわたしは〕是主題，不重讀。くきのうは〕是對比，要重讀〕

○甲 「どうだ、一緒^{いっしょ}に行かないか？」／“怎麼樣，不一起去嗎？”

乙 「今日^{きょう}は僕^{ぼく}は行けない」／“今天我是不能去的。

〔く今日は〕是主題，不重讀。く僕は〕是對比，要重讀。意爲“今天你們去，我不能去。”〕

丙 「僕^{ぼく}は今日^{けふ}は行けない」／“我今天是不能去的。

“〔く僕は〕是主題，不重讀。く今日は〕是對比，要重讀。意爲“我改天去，今天不能去。”〕

○日曜日^{にちようび}には、私は新聞^{しんぶん}は読みますが、勉強^{べんきょう}はしません／星期天，我報紙是看的，但功課是不做的。〔く日曜日には〕和く私は〕是主題，く新聞は〕和く勉強は〕是對比〕

(三) 加強語氣

くは〕還可以接在連用形、助詞、體言等後面構成慣用型。這種加強語氣的くは〕一般接在述語後面，不關聯全句，要重讀，並且不能用くが〕替換。

1. 引起否定的敘述，並加強否定的語氣。例如：